

バーコードプリンター

# EN-40/C

---

取扱説明書



**PEC** フェニックス電子株式会社  
PHOENIX ELECTRONICS CO.,LTD.

---

## 目 次

---

1. はじめに .....	1
2. 特長 .....	2
3. 安全にご使用いただくために .....	3～6
4. 一般仕様 .....	7
5. 各部の名称と説明	
5-1 プリンター全体図 .....	8
5-2 操作パネル部 .....	9
5-3 電源パネル部とインターフェース部 .....	10
6. ラベルセットの方法	
6-1 ラベルセットの方法 .....	11～12
6-2 ラベルが詰まった場合 .....	13
7. エラーランプ表 .....	14
8. オプション カッター機搭載 (／C) .....	15
9. 故障について .....	16

## 1. はじめに

このたびは、EN-40/C をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本装置は、ダイレクトサーマル方式のプリンターで、パソコン等の外部入力装置とRS-232C  
あるいはUSB (VCOM) でインターフェースすることにより、用紙にバーコード、文字等が  
直接印字することができます。

お願い

この取扱説明書には、機械各部の操作方法をはじめ、使用上の注意事項、簡単なトラブル処理方法  
などについて記載してあります。本装置の性能を十分に発揮させ、効果的に活用していただくため、  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

ご使用中、不明点があればいつでも閲読できるよう、取扱説明書は大切に保管してください。

## 2. 特長

- **ダイレクトサーマル方式**  
サーマルリボンが不要のためランニングコストが安く、また、構造も簡単で、操作が容易です。
- **高速印字**  
最大100mm/秒の印字速度ですので、発行処理時間などを短縮できます
- **コンパクト設計**  
軽量・小型な卓上型で設置場所を選ばず、ラベル挿入も入口から出口までが見やすく使いやすい。
- **USBインターフェース増設**  
パソコンとの接続もRS-232-CあるいはUSB(VCOM)と選べることによりラベルプリンターとして、ハイレベルなシステム構築ができます。
- **オプション カッター機搭載**  
(/c)はオプション カッター機搭載。ラベルの1枚カットを行います。

### 3. 安全にご使用いただくために

本製品を安全に正しくご使用いただくために守っていただきたい注意事項を示しています。

#### ◆表示の意味



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う原因となります。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると人がけがをしたり周囲に物的な損害をあたえたりする可能性が想定される原因を示しています。

#### ◆記号の例



▲で示した記号は、警告や注意を促す内容を示しています。記号の中や近くに具体的な注意内容を示しています。



⊘で示した記号は、してはいけない禁止事項を示しています。記号の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。



●で示した記号は、必ず指示に従っていただきたい強制事項を示しています。記号の中や近くに具体的な指示内容を示しています。

# 警告



表示されている電源電圧以外では使用しないでください。  
火災・感電の恐れがあります。

禁止



電源コードは本機付属品を使用してください。  
付属品以外の電源コードを使用すると、発火や火災の恐れがあります。

指示



アース接続は必ず行ってください。  
漏電すると火災・感電の原因となります。またガス管、電話専用アース、水道管には絶対取付けないでください。



延長コードを使用したり多足配線で使用しないでください。  
電源の容量を超えると火災・感電の原因となります。

禁止



電源コードの上に重い物を乗せたり、無理に曲げたり、傷つけたり、加工したりしないでください。  
そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。

禁止



電源プラグをコンセントから抜くときは必ず電源プラグを持って抜いてください。  
電源コードを引っ張ると芯線が露出したり断線し、火災・感電の原因となります。

指示



万一、煙が出たりへんな臭いがしたときは、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて連絡先へ連絡してください。  
そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。

抜く



本機の開口部から内部に金属の異物を差し込まないでください。  
配線がショートし故障・感電・火災の原因となります。

禁止



異物(金属類・液体)が本機の内部に入った場合は、本機の電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた後、連絡先へご連絡ください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

抜く



本機のカバーを取り外したり分解しないでください。  
火災・感電の原因になります。点検や修理は連絡先へご連絡ください。



本機を水のかかる場所で使用しないでください。  
火災・感電の原因となります。



本機に強い衝撃を与えたり激しい振動を与えないでください。  
本機が落下してけがの原因となります。また本機が破損し火災・感電の恐れがありま

禁止

## 注意



指示

本機に電源コードを接続する場合は、電源プラグをコンセントに押し込む前  
に行ってください。

ショートや故障の原因となることがあります。



指示

本機の電源ON/OFFは必ず本機の電源スイッチで行ってください。

本機の電源スイッチがONの状態、タップによる電源ON/OFFは故障の原因とな  
ります。



指示

本機に接続する通信ケーブルは電源がOFFの状態に接続してください。

電源がONの状態に接続するとショートや感電の原因となることがあります。



抜く

オプションユニットの取付けや取外しは、本機および本機に接続されてい  
る装置の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

故障・感電の原因となります。



禁止

湿気やほこり、通気性の悪い場所には設置しないでください。

故障や火災・感電の原因となります。



禁止

本機の通風孔をふさがないでください。

内部に熱がこもり故障・火災の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となります。



本機を移動する場合は、電源コードおよび本機に接続されている他の接続コードを抜いてください。

指示

コードが傷つき故障や火災・感電の原因となることがあります。



長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

抜く

火災の原因となることがあります。



本機のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。  
感電の原因となることがあります。

抜く

## お願い



キーは軽く押すだけで操作できますので強く押さないでください。

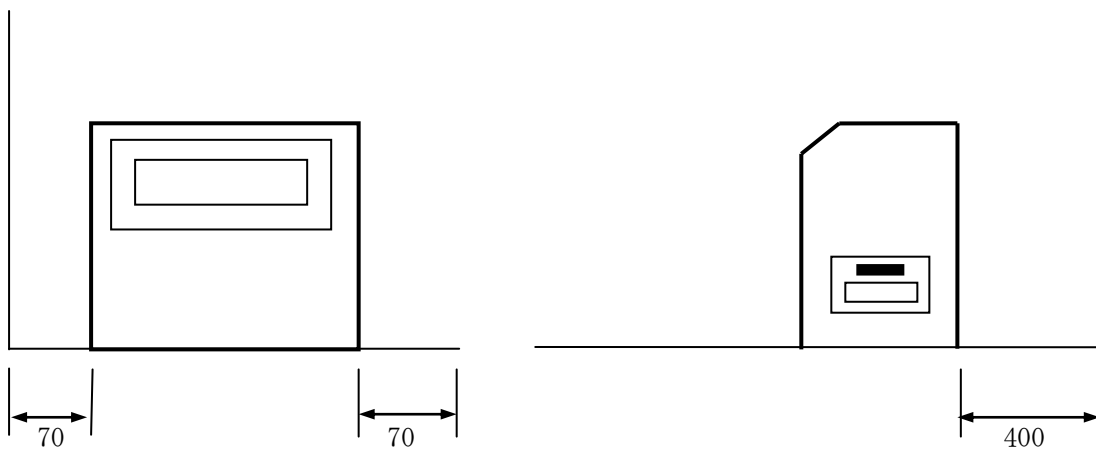
指示



消耗品の交換や点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

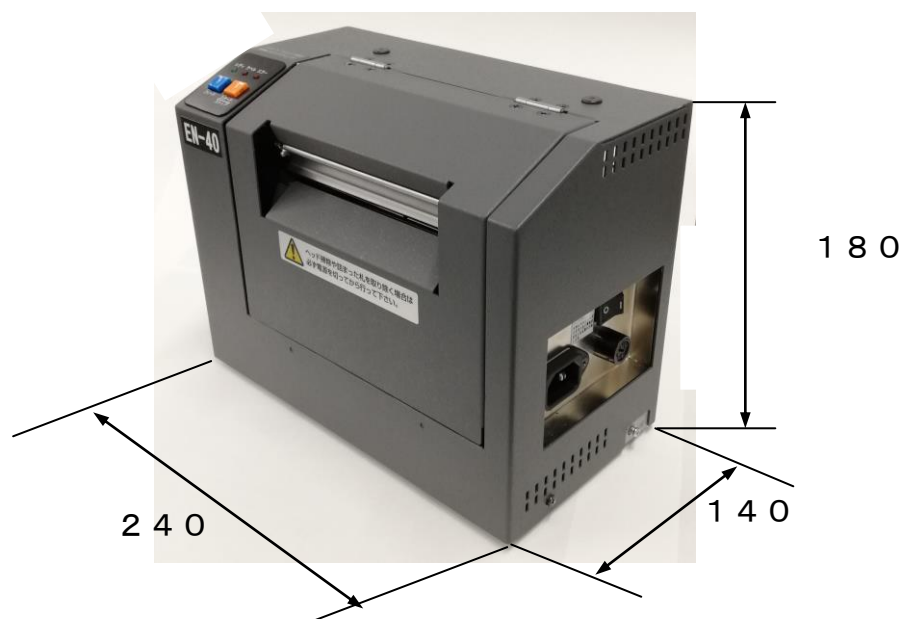
指示

(単位 mm)



## 4. 一般仕様

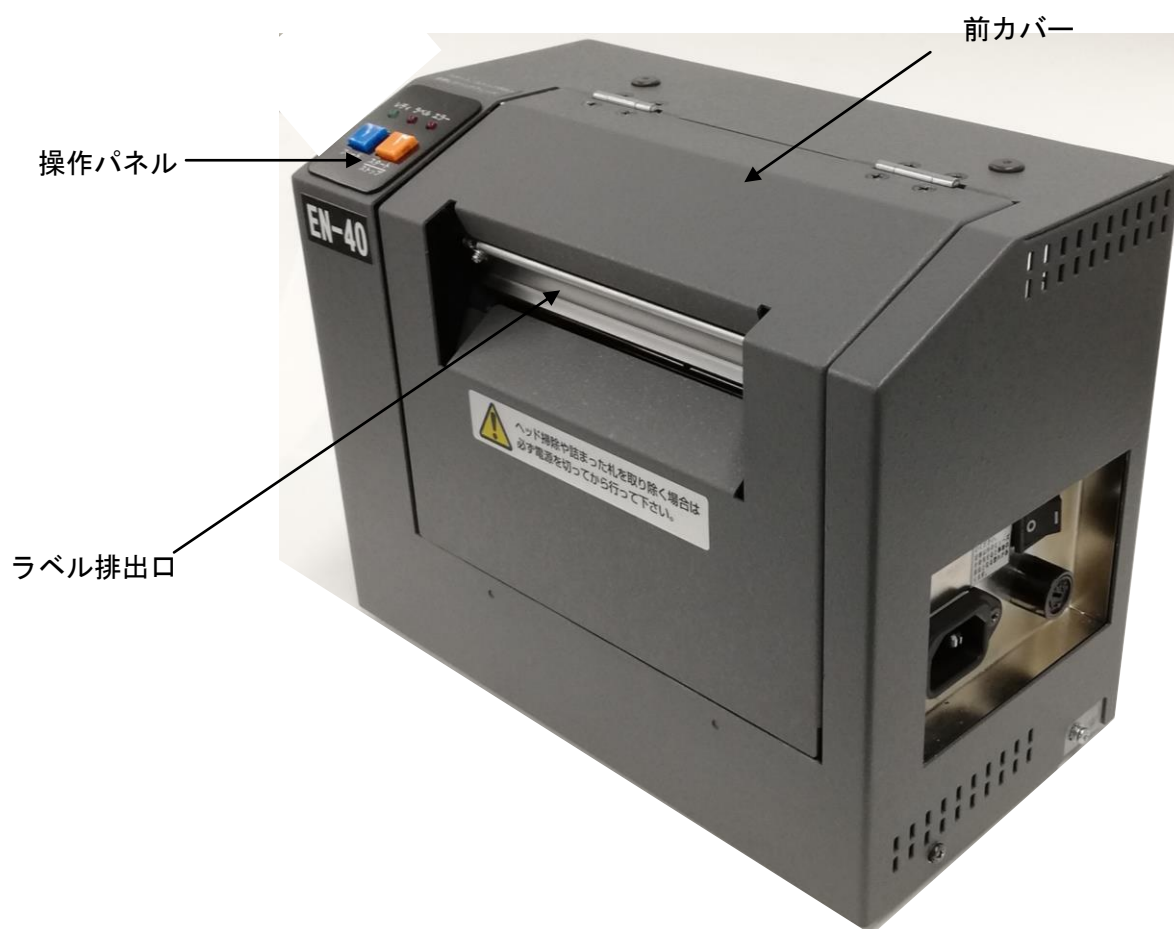
- ① 電 源 : AC100V±5% 50/60Hz
- ② 消費電力 : 約150VA 以下
- ③ インターフェース : RS-232C準拠シリアル型  
USB (VCOM)、LAN (工場オプション)
- ④ 重 量 : 約 3.5kg
- ⑤ 使用温度 : 動作時 10~30℃  
保存時 0~40℃
- ⑥ 使用湿度 : 動作時 30~80%  
保存時 20~85% (非結露のこと)
- ⑦ 印字密度・印字速度 : 8ドット/mm・MAX100mm/
- ⑧ 用紙サイズ : 幅 60~112mm  
長さ 35~250mm (折仕上げ)  
厚さ MAX0.19mm
- ⑨ 外形寸法
- ⑩ カッター機 : 工場オプション (／C)



- 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

## 5. 各部の名称と説明

### 5-1 プリンター全体図



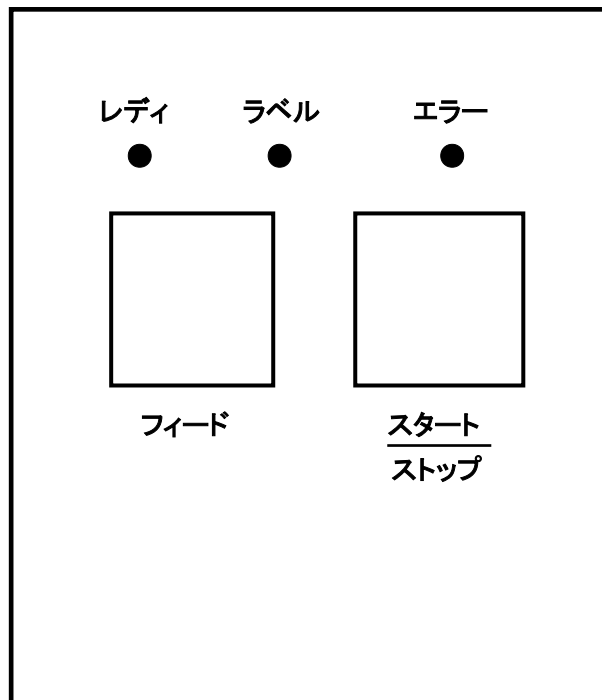
## 5-2 操作パネル部

### (1) ガイドランプ

- ① レディ (緑) : 電源ON時及び印字データ受信可能時に点灯します。  
スタート/ストップキーが押された時及びエラーが発生した時はランプが点滅し、一時停止します。
- ② ラベル (赤) : ラベルが無くなった時に点滅し、一時停止します。
- ③ エラー (赤) : エラー発生時に点灯・点滅し、一時停止します。

### (2) キースイッチ

- ① フィード (青) : キーが押されると、用紙を送ります。
- ② スタート (赤) : 印字途中で停止 (一時停止) される時、印字を再スタートする時に使用します。  
長押し後、ラベルが後進後吐き出し動作を行う。



## 5-3 電源パネル部とインターフェース部

【左側面】



【右側面】



【左側面】

- ・ RS-232C ポート : RS-232C 用のコネクタでパソコンからのケーブルを差込みます。
- ・ USB ポート : USB 用のコネクタでパソコンからのケーブルを差込みます。
- ・ DIP SW : 通常時は触らず、設定を変更しないで下さい。

【右側面】

- ・ アース端子 : 付属のアース線を接続します。
- ・ 電源スイッチ : 右側押下( | )で 'ON'、左側押下( O )で 'OFF' になります。
- ・ ヒューズボックス : ヒューズが入っています。(125V・4A, ミゼットタイプ φ5×21)
- ・ AC100V インレット : 電源コードを接続します。

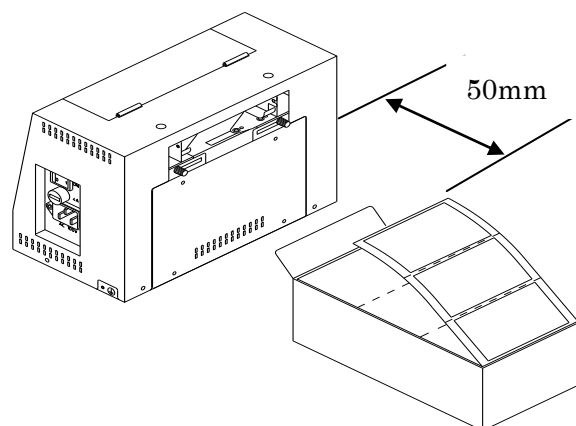
### 注意

ヒューズは必ず所定の定格(125V 4.0A)のものをお使いください。  
定格以外のヒューズを使用すると事故の原因となる恐れがあります。

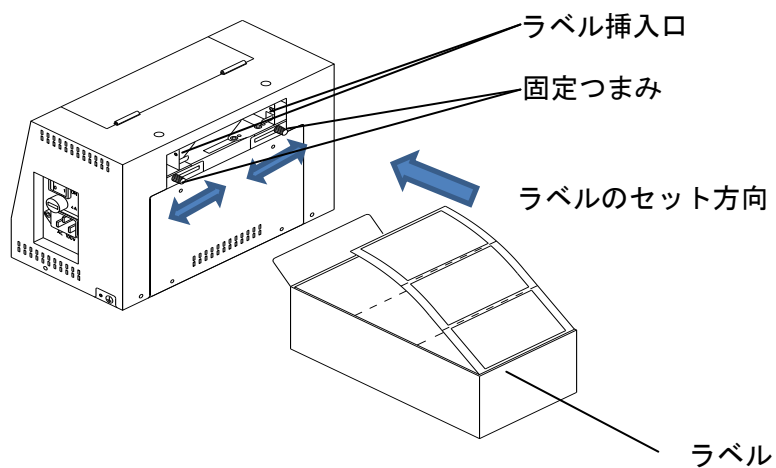
## 6. ラベルセットの方法

### 6-1 ラベルセットの方法

(1) ラベルをプリンターの約50mm後方へ下図の方向に置いてください。



(2) 固定つまみのネジ（2ヶ所）を緩め、ラベルガイドをラベル幅に合わせて固定つまみのネジをしっかりと締めて固定してください。



(3) 本体の後ろ（上図）からラベルを挿入してください。

(4) ヘッド開放レバーを上げて、プラテンローラを下げます




(5) ラベルの先端をガイドに合わせて、プラテンローラを上げてセットします。開閉カバーを閉めます。

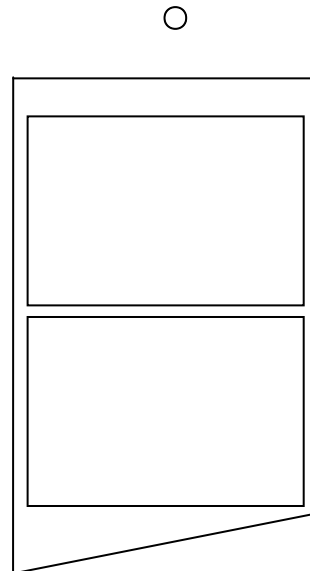
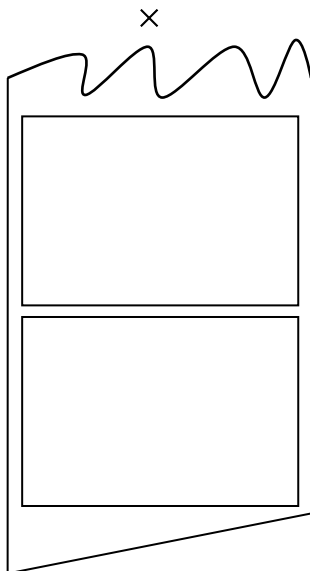


- (5) フィードキーを押すと、ラベル1枚が排出されて定位置で停止します。  
(オプションのカッター機付は1枚カットして定位置で停止します)



## 注意

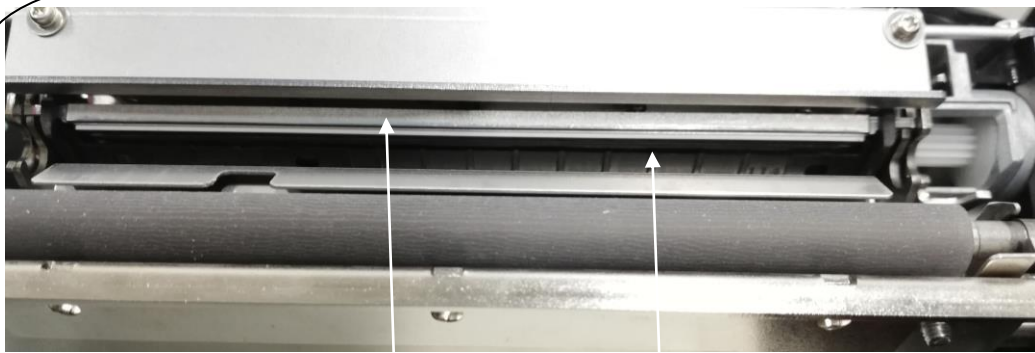
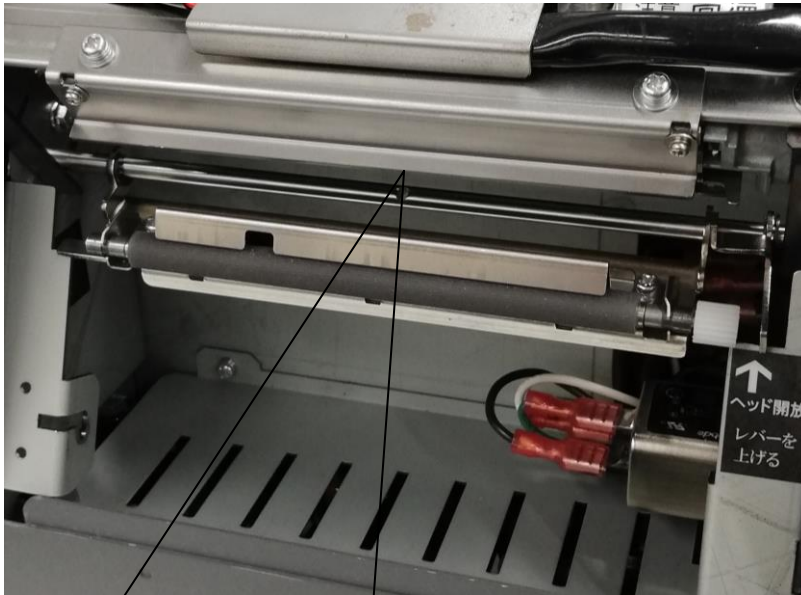
-  ラベルの先端が不揃いになっていると、セットしにくい場合がありますので、  
下図のようにまっすぐ切断してください。



## 6-2 ラベルが詰まった場合

### (1) 印字ヘッドに貼り付いた場合

プリンターの電源を”OFF“にし、ヘッド開放レバーを上げて、プラテンローラを下げます。下から覗いて、ラベルを取り除いてください。



印字ヘッド

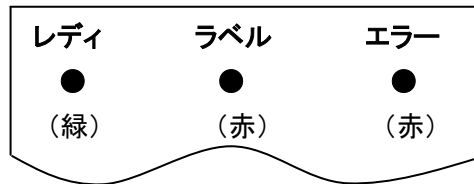
発熱体



- ⊘ ラベルを取り除くときに、金属などで発熱体をキズつけないでください。  
キズついた部分が発熱できずに、印字できなくなります。

## 7. エラーランプ表

エラーが発生し、プリンターが停止したときは、ランプが点灯または点滅します。



ランプ状態	内 容	処 理
印字中に停止 レディ 点滅 エラー 点灯	<ヘッド自己診断エラー> 印字ヘッドに異常がある時	印字ヘッドの交換が必要です。 連絡先へ連絡してください。
印字データ送信 レディ 点滅 ラベル 点灯 エラー 点灯	<通信エラー> 通信用のコネクターが抜け かけていませんか？ 通信上の異常があるとき	コネクターを確認する。 スタート/ストップキーを押してエラーを解除 し、再度、データを送信してください。
レディ 点滅 エラー 点滅	<ヘッドアップエラー> 印字ヘッドが上がっている時	印字ヘッドを下げて、スタート/ストップキーを 押してください。
レディ 点滅 ラベル 点滅	<ラベル切れエラー> ラベルが無くなった時	新しいラベルをセットし、フィードキーをおして 再スタートしてください。

## お願い

❗ 上記の処置を行っても、エラーランプが表示される場合は、一度電源を切り再起動してくだ  
さい。

再度操作を行ってもエラーメッセージが表示される場合は、メンテナンスサービスまたは  
支店・営業所へお問合せください。

## 8. オプション カッター機搭載 ( / C )

- (1) P. 11 ラベルセットの方法を参照し、ラベルをセットして下さい。
- (2) ラベルの先端をカッター出口まで挿入します。
- (3) フィードキーを押すとラベルが1枚カットされ、セット完了します。



カッター出口



カッター機

## 9. 故障について

下記の処置を行っても復帰できない時は、必ず電源プラグを抜いてから、連絡先へ、お問い合わせください。

連絡先

---

症 状	処 置
電源を”ON”にしても電源ランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・電源プラグがコンセントから外れていないか確認してください。</li><li>・コンセントに電源がきているか確認してください。</li><li>・ヒューズが切れていないか確認してください。</li></ul>
データを転送しても印字しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・エラーランプが点灯・点滅していないか確認してください。 (『7. エラーランプ表』 P 1 5 参照)</li><li>・ラベルランプが点灯・点滅していないか確認してください。</li></ul>
印字に白いスジが入る	<ul style="list-style-type: none"><li>・プリンターの電源を“OFF”にしてください。</li><li>・印字ヘッドにラベルが貼り付いていないか確認してください。</li><li>・白いスジ部分の印字ヘッド表面を綿棒（帯電防止用）で掃除してください。 汚れがひどい時は、綿棒に無水エタノールを浸して拭き取ってください。 (『6-2 ラベルが詰まった場合』 P 1 4 参照)</li></ul>

No.14-K-1